

平成 30 年 11 月 12 日

平成 30 年度市町村議会議員研修報告書

下関市議会議員 江村 卓三

日 時：平成 30 年 11 月 5 日～6 日

場 所：全国市町村国際文化研究所（滋賀県大津市）

研修内容： 議会改革を考える

～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

(1 日目 13:00～14:30)

講義

「地方自治の現状と議会改革の動向」

早稲田大学 名誉教授 北川 正恭

資料はなく、パワーポイントで議会がどのように変わってきたかの変遷と、そして、議会はどうかあるべきかを、県議、知事、衆議院議員を経験されてきた者として、話をされた。

(感想)

地方行政は 1995 年の 1 月に発生した阪神淡路大震災の年から、国と地方公共団体のあるべき姿として対等・協力の方向に改められ（地方分権推進法）、機関委任事務は廃止され地方は地方で努力すべきものとなったようです。これに合わせ、議会も変わってきたと思います。

今回の経験上での話で考えさせられたのは、昔の議会は行政の監視機能だけが仕事とされていましたが、今は議会が条例を制定するぐらいの自らが政策能力を持つ時代となったことです。ですから、執行部の政策案に対して我々議会もしっかりと勉強をさらにし、審議を深めることをしなければならないということです。

(1 日目 14:45～15:30)

講義

「議会改革度調査」から見る地方議会

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健

議会は、首長（執行部）とどこが違うのかについて、講義がありました。  
執行権のある首長が、まちの条例や予算などを提案し、議決権のある議会が提案内容を議論し決定すること。

また、その首長や議会は、住民が選挙で選ぶこと。そのため、住民の声をよく聞く必要があること。

基本的なことであるが、具体例などをあげながらわかりやすく説明されました。

(1日目 15:45～17:30)

事例紹介・演習

住民参加・情報公開を進める取り組み

(事例紹介) 北海道栗山町議会 議長 鶴川 和彦

(演習) 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健

日本で最初の議会基本条例を制定した議会の話を聞く。

(人口 11,864人、世帯数 5,984世帯、面積 203.84km<sup>2</sup>)

その話を受け、演習として講師の指導の下で、制定時の疑問点などを質問した。

(感想)

行政規模が違うので、本市では議会としてまとまるのかなど疑問点もあったが、議員のまちを良くしようとの思いは良く伝わった。

議員として、議会活動の必要性を改めて認識させられました。

(2日目 9:00～11:45)

事例紹介・演習

住民参加・情報公開を進める取り組み

(事例紹介) 会津若松市議会 議長 目黒 章三郎

(演習) 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健

会津若松市の議会は、住民参加・情報公開を進める取り組みが先端を行っているとのことで、内容をお聞きしました。

市民との意見交換を年2回（地区別に5班6人体制で）分野別にやっているようです。

そして、持ち帰った問題点や要望を委員会別に協議をし、市政への問題点として、提起するようです。

また、請願・陳情については、すべて参考人として意見陳述をし、日当も支払っているようです。

議会制度検討委員会への市民委員の参加や各代表者会議の公開（傍聴可能）もされてきました。

（感想）

これについても、行政規模が違うので、本市では議会としてまとまるのかなど疑問点もありましたが、議員の方がこれまで改革をされ、活動されていたことは驚きでした。

（2日目 12：40～15：00）

事例紹介・演習

各議会における今後の議会改革推進の検討

（演習） 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村 健

8人一組となり、グループで話し合いをすることの必要性を学びました。

（感想）

テーマを決め、話し合いをすることで、いろいろなアイデアが広がることと、議員一人一人の意見を聞くことの大切さなども勉強になりました。

今回の研修で学んだことは、“自治体のことは議会が決める。自治力を強めるのは議会であること。”

○研修資料は個人で保管

# 受講証明書

団体名：山口県 下関市

所属・氏名：下関市議会 議員 江村 卓三

研修名：平成30年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 議会改革を考える  
～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～  
期間：平成30年11月5日(月)～平成30年11月6日(火)

上記の研修を受講したことを証明します。

平成30年11月6日

全国市町村国際文化研修所  
学長 池田 憲 治

